

1. プロジェクトのタイトル

コロナショック後の人出変動と企業パフォーマンス

2. 研究者名・所属・連絡先メール

宮川大介・一橋大学大学院経営管理研究科・dmiyakawa@hub.hit-u.ac.jp
(株)東京商工リサーチとの共同研究

3. プロジェクトの目的と研究方法 (research design) の要約

本研究は、COVID-19（新型コロナウイルス感染症）の拡大を防ぐ目的から導入された外出自粛要請などに起因する人出の変動が企業パフォーマンスに及ぼす影響を検討するものである。具体的には、Google が公表した 2020 年 2 月以降の小売店や職場など 6 類型に関する日次人出変動データ（2020 年 1 月対比）を用いて都道府県×類型レベルのモビリティ変動を計測したうえで、(株)東京商工リサーチが収集したコロナショック以降の時期における日本企業の倒産や売上変動に関するリアルタイムデータとの関係を推定する。この際、2019 年 12 月以前の倒産履歴を用いたプラセボテストを併せて行うことで、コロナショック後のモビリティ変動が企業パフォーマンスに与えた影響を明示的に推定する。分析に当たっては、自社が立地している都道府県のモビリティ変動に加えて、隣接都道府県のモビリティ変動、販売先・仕入先が所在する都道府県のモビリティ変動、コロナショック前の企業属性を含んだモデルを推定することで、コロナショックの発現以降の各時点で、需要サイドと供給サイドに関するどのようなショックが企業に及んだかを実証的に検討する。

4. 利用するデータの説明

Google COVID-19 Community Mobility Reports
TSR 企業倒産データ・売上高サーベイデータ

5. 研究プロジェクトの JEL コード

G33, L25

6. キーワード

行動制限、モビリティ、企業倒産、産業異質性、企業成長、波及効果

https://www.rieti.go.jp/jp/special/special_report/114.html

Last update: 04/27/2020